

ご寄附をありがとうございました

2019年9月1日～2019年11月30日

寄附金9月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	金額（円）
9月 2日	全国百貨店共通券資金化 （中山 千代子）	6,000
9月 2日	中山 千代子	10,000
9月 2日	匿名	20,000
9月12日	株式会社 互助センター友の会 ホテルベルクラシック東京	68,660
9月20日	東京土建一般労働組合豊島支部 執行委員長 広瀬 達雄	135,600
	合計	240,260

寄附金10月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	金額（円）
10月 7日	匿名	30,000
10月 7日	匿名	5,000
10月 7日	匿名	5,000
10月 9日	匿名	1,000
10月 9日	匿名	2,000
10月 9日	匿名	5,000
10月 9日	使用済切手換金分	12,390
10月17日	匿名	1,000
10月17日	佐々木 キヨ	5,000
10月17日	匿名	2,000
10月17日	匿名	2,000
	合計	70,390

寄附金11月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	金額（円）
11月 8日	いきいきクラブIN豊島	5,000
11月13日	東京よさこい大塚華麗	109,019
11月15日	東京防犯健全協力会	300,000
11月25日	株式会社 互助センター友の会 ホテルベルクラシック東京	48,557
11月29日	秋森 和	10,000
11月29日	恩田 治子	4,000
	合計	476,576

寄附物品9月～11月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	物 品
9月10日	匿名	浴用タオル7枚
9月19日	アンサンブルぶどうの木（代表 加瀬 淳子）	コンサートチケット10枚
9月27日	匿名	タオル25枚
9月30日	高橋 賛治	お皿40枚ほど
10月 1日	株式会社 光通信	パックご飯、おかゆ18食入り2箱
10月10日	秋吉 恵美	コンサートチケット20枚、ボールペン50本
10月15日	岩木 秀夫	玄米約50kg（福島産）
10月15日	匿名	生地（衣装ケース3箱分）
10月25日	株式会社 光通信	お米5kg（佐渡産こしひかり）
10月30日	株式会社 光通信	お米5kg（宮城ひとめぼれ）
10月31日	株式会社 光通信	お米4kg（北海道ゆめぴりか2kg、ななつぼし2kg）
11月 5日	株式会社 光通信	お米30kg（魚沼産コシヒカリ）
11月 5日	株式会社 光通信	お菓子1箱
11月15日	匿名	習字用半紙約500枚
11月20日	株式会社 光通信	お米10kg（宮城産ひとめぼれ）、佃煮5種詰合せ1箱
11月21日	株式会社 マックス	無添加固形石鹸、ボディソープ、入浴剤ボール3箱
11月26日	大川 賢治	車椅子2台

御篤志に心より感謝いたします

T o s h i m a F u k u s h i

豊島福祉

今月の内容

- 感謝状贈呈式を開催いたしました
- 令和元年度 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい・地域福祉活動募金のご報告
- 会員の地域貢献活動
- ふくみんに会いに来てね
- 地域の活動
- 佐野市災害ボランティアセンターの運営支援活動報告
- としまベンチプロジェクト 高田地域まち歩き
- 豊島区民生委員児童委員協議会の活動紹介
- ご寄附をありがとうございました

2020
冬
No.265 号

「富士山 本栖湖」 写真…千葉 光雄

「豊島福祉」に 広告を掲載してみませんか？

規 格	広告掲載料
タテ約 8cm ヨコ約 9cm	30,000円
タテ約 8cm ヨコ約18cm	60,000円

広告掲載を希望する個人・団体・企業を募集しています。
PRなどにご活用ください。
年4回、各6,500部発行、豊島区民社協会員向けに配布
しています。
詳しくは下記までお問合せください。

問合せ 豊島区民社会福祉協議会
TEL：03-3981-2930

※枠…掲載位置、大きさの目安

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。

令和2年、2020年いよいよよまちに

待った東京オリンピック・パラリン

ピックの年になりました。昨年は台風

など想定外の大きな被害が発生しまし

た。ボランティアの方などワンチームの

活躍で早く復旧しました。今年は全世界

平穏な年になってほしいと思います。

（戸澤 佳子）

表 紙

千葉 光雄

広報委員

岡田 実（高田地区）
西森すみ子（巣鴨地区）
三輪 緑（池袋東地区）
戸澤 佳子（池袋西地区）
酒井 順子（高田地区）
大山さと子（長崎第一地区）
松崎伊津枝（長崎第二地区）
広瀬 孝一（社協）

発 行

2020年2月
社会福祉法人
豊島区民社会福祉協議会
豊島区東池袋1-39-2
豊島区役所 東池袋分庁舎3,4階
☎03-3981-2930

デザイン・印刷：大東印刷工業株式会社

2020 winter No.265

感謝状贈呈式を開催いたしました

去る11月20日（水）、としま区民センター7階会議室において、平成30年度に社会福祉協議会の事業発展及び豊島区の福祉向上に多大なご協力、ご支援をくださった方々に高野之夫名誉会長及び田中幸一郎会長から感謝状並びに記念品を贈呈しました。



（順不同 敬称略）



社会福祉功勞の部

【評議員】

田島 正男 仁平 宏

【町会長】

野本 渉 渡邊 孝雄 岸野 清隆 酒寄 茂雄
海保 洋一 作本 恒美 下田 朗

【民生委員児童委員】

秋田 和江 横山 千恵 佐藤 智恵

寄附の部

東京防犯健全協力会
東京よさこい大塚華麗
株式会社 ワイズマート 代表取締役社長 吉野 秀行
宗教法人 真如苑
豊島区明るい社会づくりの会
重林寺 池袋本町中央町会
公益社団法人 全日本不動産協会 東京都本部 豊島・文京支部 支部長 荻原 武彦
公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 豊島区支部 支部長 山口 利昭
豊島区仏教会
巣鴨一丁目町会
台湾の姉 玉仙妃
カーブス要町駅前

会長特認功勞の部

【在宅サービス協力会員】

鈴木 邦明 清水 幸枝 間宮加代子 波多江美由紀 野中正喜子 大野かえで
上田亜里沙 大野 妙子 若井 敏子 菱木 明子 関 秀治 森下 好司
富田 芳江 小木曾 進 大澤 光彦 小林 伸行

【広報事業】

千葉 光雄

令和元年度

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい・地域福祉活動募金のご報告

共同募金運動は、地域の皆様に支えられ、73回目の運動を実施することが出来ました。
あたたかいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

令和
元年度
募金額

赤い羽根共同募金： 8,826,667 円

歳末たすけあい・地域福祉活動募金： 8,883,723 円 （1月23日現在）

募金はこうに使われます

●赤い羽根共同募金は…

寄せられた募金の65%が豊島区内の高齢者・障がい者・児童等の施設・事業所に配分されます。令和元年度は区内20の施設・事業所が行う備品整備、修繕、研修事業等に使われました。配分を受けた施設・事業所から寄せられた「ありがとうメッセージ」の一部をご紹介します。

みのり保育園

3階保育室の天井と壁を珪藻土にすることで猛暑の時期でも1～2度気温が下がっていたので、快適に過ごすことが出来ました。ありがとうございました。



あおぞら作業所

今まで使っていた椅子は、クッションがなくなってぺたんこ、座るとネジがお尻にあたるものでありました。新しい椅子が届いた時には「わあ、きもちいい!」「座り心地がぜんぜんちがう!」と歓声が上がりました。正しい姿勢で安心して作業するおかげか、疲労度も軽減する効果があるようです。寄附をいただき本当にありがとうございました。



●歳末たすけあい・地域福祉活動募金は…

寄せられた募金の100%が豊島区に配分されます。

地域のさまざまな団体への助成金として

- 区内のボランティア団体や障がい者団体、福祉施設が行うイベントや講座など
- 町会・自治会が行うお祭りや世代間交流事業、餅つき大会、敬老会など
- 青少年育成委員会やPTAが行う、地域住民と子どもたちとの交流イベントや講座など
- 地域の交流や生きがいづくり、見守りなどを目的とするサロン活動



▲町会のサロン活動

社会福祉協議会のこんな事業にも使われます！

- 日常生活に援助を要する方への家事援助サービス
- 車椅子に乗ったまま乗り降りできる車両での移送サービス
- 福祉教育やボランティア講座開催のための費用
- 敬老の日訪問プレゼント等の経費



募金の配分は、地区の町会・自治会、学識経験者、社会福祉団体等から選出された委員で構成する「配分推せん委員会」で、地区の福祉ニーズに基づき審議し、東京都共同募金会に配分の推せんを行います。

● 会員の地域貢献活動

豊島区民社協では、企業・団体会員の皆さんの地域活動を応援しています。

グループ豊夢

グループ豊夢は、「さわる絵本をできるだけ多くの視覚障がい児に作ってあげたい」「中高年の人たちでも気軽に参加できる活動を始めたい」という思いで、昭和54年に発足しました。

現在は、毎週木曜に豊島ボランティアセンターの活動室で活動しており、中心的な活動メンバー4名と、体調と相談しながら参加してくれるメンバーが数名在籍しています。『としまボランティアセンターだより』を見て、参加してくれる方もいて、互いに教え合いながら、気ままに楽しく活動しています。



▲ 的あて

これまで様々な障がいをもつ子どもたちや施設で暮らすお年寄りなどが安心して楽しく遊べる遊具を作ってきました。最近では、周囲に四季の花をあしらったあてやペットボトルと布製のボールを使って遊ぶボーリングなど、さまざまな材料を活用した作品を作っています。

出来上がった作品は、東西の子ども家庭支援センターや障害福祉センター、区内の保育園・高齢者施設などに寄贈しており、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々に楽しんでもらっています。また、寄贈して終わりではなく、修繕の対応も行い、長く使ってもらっています。

ふくみんに 会いに来てね



豊島区民社協キャラクター
ふくみん

豊島区民社協に新たに仲間入りした“ふくみん”のぬいぐるみをグループ豊夢さんに作っていただきました。社協のイベントやふくし健康まつりなど地域イベントの社協スペースに職員と一緒にいることがあるので、ぜひ“ふくみん”に会いに来てください。

いろんなポーズをとることができるよ



イラストの「ふくみん」からイメージを膨らませ、生地はどんなものがいいか、髪の毛はどうしたら可愛くなるかなど、何度も試作を繰り返して、可愛いぬいぐるみが誕生しました。



▲ ふくみんを作成してくださった「グループ豊夢」の皆さん

地域の活動

豊島区で行われている地域の活動をご紹介します。

手作りカバンを地域にお届け

池袋西地区

池袋本町にお住まいの光森勝子さんは、自宅で手作りした手提げカバンや巾着袋、ティッシュカバーなどを、地域の施設や保育園、小学校などに寄附する活動を43年続けています。地域の集まりやイベントなどで配布することもあり、最近では、池袋西地区の民生委員児童委員協議会から「民生委員の訪問活動で一緒にお配りしたい」と依頼がありました。その時は、7ヶ月で2,000個のカバンを作った民生委員に届けました。

カバン製作には、ご家族と2人のお友達が協力してくれており、生地をご家族が購入し、それを友達2人と裁断しミシンで縫って作製しています。また、ミシンの調子が悪くなってしまった時は、息子さんが修理の手配などしてくれました。みんなのサポートもあって、ここまで続けることができているとおっしゃいます。

もともとボランティアが好きだという光森さん。施設で働いている知人から「カバンを作ってくれないか」と頼まれたのがきっかけでした。「喜んでくれると断れないでしょ」と、楽しく製作する秘訣を教えてくださいました。



▲ カバンやペットボトルカバー、ティッシュカバーなど
「こんな素晴らしいものをありがとうございます。病院で薬もらった時に使うわ」と大変喜ばれています

▲ 着物を入れるために作ったカバンを持つ光森さん



台風19号復興支援 やきいも大会

北大塚一丁目睦町会



北大塚一丁目睦町会では、昨年まではもちつき大会を実施していましたが、令和元年12月7日（土）に初めて「やきいも大会」を実施しました。

会場となった巣鴨公園には、小雨の降る寒い日にも関わらず、130名（71世帯）の住民が集いました。受付では、甚大な被害をもたらした台風19号の復興支援として募金箱を設置して、来場者から支援金を募りました。

薪で焼かれたやきいもを、子どもからご年配の方まで、美味しく食べながら交流しました。公園などで火を使うことは少ないため、楽しさと共に、火を安全に使うということを子どもたちへ伝えたり、災害発生時の炊き出しの訓練にもつながるイベントとなりました。

また、社会福祉協議会の区民ミーティングも同時開催され、参加者は台風や災害に対する備えや対応についてアンケートに答えながら、地域での防災について改めて考える機会となりました。



▲ 14,017円のご寄附がありました！



▲ 子どもたちもお手伝い



▲ 美味しく焼きました♪



▲ 災害時の行動についてアンケートをとりました

佐野市災害ボランティアセンターの運営支援活動報告 (派遣期間：2019.10.26～30)

令和元年の台風15号・19号の影響により記録的な大雨となり、全国的に河川の氾濫や浸水、土砂災害、家屋の破損など甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

豊島区民社会福祉協議会の豊島ボランティアセンターでは、台風19号による被災地支援の取り組みの一つとして、東京都社会福祉協議会の呼びかけによる佐野市災害ボランティアセンター（以下「災害VC」）運営支援活動に職員を派遣しました。



佐野市は秋山川の決壊等により、多くの家屋が床上浸水に見舞われました。佐野市社会福祉協議会は、今回初めて災害VCを開設したため、どのように運営するか手探りの状況であり、派遣された職員はニーズ調査とボランティアの派遣調整に従事しました。

発災当初は交通機関が寸断されていたため、ボランティアがなかなか集まりませんでしたが、マスコミ等で取り上げられたことにより、11月になると県内外から沢山の支援が寄せられ、500名を超える方が室内の片づけや泥かきなどの活動を行う日もありました。

5日間という短い期間でしたが、今回の経験を将来、豊島区において大規模災害が発生した際の災害VC運営に活かしてまいります。

豊島区民社会福祉協議会では、大規模災害発生時における支援活動などを目的に災害ボランティアの養成講座を行っております。

この高さまで水が来ました



被災地でのボランティア活動を希望する方へ

たくさんの方のご協力によって、被災地は少しずつ復興の兆しを見せており、同時に被災地のボランティアに対する需要も変化しています。被災地のボランティアに行く前に、必ず現地での情報を確認してください。

災害ボランティアに関する情報源

全国社会福祉協議会
▶ <https://www.saigaivc.com/>
東京ボランティア・市民活動センター
▶ <https://www.tvac.or.jp>

としまベンチプロジェクト 高田地域まち歩き



高齢者などが安心して外出できる環境づくりに加え、ベンチを置くことでそこに小さなコミュニティができ、防犯にもつながる。地域住民等で構成され、高齢者等の生活支援体制の整備をすすめる協議会である「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」でのこのような議論から、ベンチプロジェクトは生まれました。

12月9日、高田地域の民生児童委員・町会関係者の協力で、日本福祉教育専門学校の学生、協議会委員、ふくろうの杜高齢者総合相談センター・池袋敬心苑の職員、社協CSW等79名がまち歩きを実施。地図を片手にトイレやベンチ、段差などを点検しました。「神田川沿いの桜がきれい」「急坂が多く外出がたいへん」等地域の特色や課題も確認しました。

としまベンチプロジェクトではベンチの設置を目標にしながら、住民・学生・関係者などが共に考え、つながりを深めています。この活動を区内に広め、「ささえあいのある地域づくり」をすすめていきます。



▲ ルートを確認し出発



▲ 「地元で協力的な企業が多い」と説明を受ける



▲ 最後にグループごとに発表



▲ マンション敷地にある腰かけスペース

豊島区民生委員児童委員協議会の活動紹介

豊島区内に6地区の民生委員児童委員協議会（巣鴨・池袋東・池袋西・高田・長崎第一・長崎第二）があり、各地区で取り組んでいる活動などを紹介しています。

合同民生委員児童委員協議会 感謝会

令和元年は、民生・児童委員の3年の任期の最終年であり、11月末にその任期を終えました。

そこで、退任される委員への感謝会及び合同民生委員児童委員協議会が、11月29日（金）ホテルメトロポリタンにて開催されました。

混声合唱団「みみずく」によるコーラスによって華やかに会が始まり、今期で退任する委員の紹介や各部会の3年間の活動報告、今期中に表彰を受けた委員への記念品贈呈などが行われました。



退任される方々に感謝を込めて花束を贈呈しました



▲ 巣鴨地区



▲ 池袋東地区



▲ 池袋西地区



▲ 高田地区



▲ 長崎第一地区



▲ 長崎第二地区

豊島区民生委員児童委員は11月末に斉改選が行われ、12月に再任・新任を含める217名の委員が委嘱されました。

広報委員が変わりました

令和元年12月から広報委員が変わりました。これからは、裏表紙に記載された新たな委員で、読みやすく親しみの持てる紙面作りを心掛け、取り組んでまいります。